

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス

# ComiNavi



さあ、色々乗り越えて今年もやってきました夏コミです！  
コミケットは存在していくと同時に、常に変化し続けていく場でもあります。

今回が初めてのビギナーさんはもちろん、参加歴十回のベテランさんも、初心に還って、改めて準備と情報収集をしっかりとしてみましょう。意外な変化が見えてくるかも！

総力  
特集

## ■PASMOとSuicaで超楽アクセス！■

PASMO（パスモ）とは2007年3月18日から始まった、関東の私鉄、地下鉄、バスで利用できる『パスネット』カードに変わる新しいサービスだ。従来のプリペイド磁気カードから非接触ICチップカード化されたことで、いちいち取り出して改札機に挿入する必要がなく、改札の通過がいっそうスムーズになった。

さらに私鉄/地下鉄の『パスネット』、都バスなどの『共通バスカード』に加え、JR東日本の『Suica』とも相互利用が可能となっており、いよいよ念願の1枚のカードで関東圏自由往来が実現したのだ（拍手！）  
それ以外にも数々の特徴をもつこの新乗車券システムの特徴と使いこなし方を、徹底レポートしよう。

### ■『PASMO』と『Suica』はどう違うの？■

基本的にPASMOとSuicaはカードのデザイン以外のシステムは同じだ。PASMOでもSuicaでも変わらずに何の手続きも不要でそのままJR東日本、東京メトロ、都バス、都営地下鉄、都電をはじめ多くの私鉄ならびにバスを利用でき、エキナカを中心に『PASMOマーク』や『Suicaマーク』の掲げられた商店や自動販売機で買物をすることもできる（PASMOマークの店でSuicaでの支払いができるし、逆ももちろん可能だ）。

つまり、JR東日本の管内でSuicaを購入しても、私鉄・東京メトロなどの管内でPASMOを購入しても、基本的には全く同じように活用できるのだ。

※というわけで、以降の記事ではPASMOとSuicaを統合して、単に『カード』という呼称を使用します

#### Check!

従来のSuicaは、『電子マネーマーク』のある物でないと、バスでは使用できないので要確認。

ただし、この初期タイプのSuicaは現在JR各駅で無料で電子マネー対応のものに交換してもらえるので、マークが無かったからといって慌てて捨ててしまわないように。

なお、『モバイルSuica』も、Suicaとまったく同様に、PASMOが利用可能な駅や販売コーナー全てで利用できる。



### ■ICチップカード乗車券の特徴■

#### ①改札の通過はタッチするだけ

ICチップカードは非接触読み取り方式なので財布や定期入れから出す必要がなく、カードを改札機の読取り部にタッチするだけ。バスに乗車する際も、料金投入機に同様のタッチパネルが設けられているので、そこにカードをタッチすればよい。

垂直方向には布や紙類を挟んで数センチ離れていても読み取ってくれるので、カードをカバンやポーチな